

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	RM	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	4 年	派遣国	ベルギー
派遣大学	ルーヴァン・カトリック大学 サンルイ・ブリュッセル校		
期 間	2024 年 8 月 28 日～ 2025 年 8 月 4 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	暖房○	冷蔵庫	○
滞在費	約 (100,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (20) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	50,000 円	
学用品購入費	3,000 円	
交通費	0 円	1 年間ブリュッセル市内の公共交通機関乗り放題のパスあり、18€
交際費	20,000 円	
その他	30,000 円	日用品、旅行費など

合計

103,000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

ブリュッセル南駅付近は、特に危険が多い。頻繁に銃を使った事件や人が殺害される事件が起きる。邦人が狙われることも多く、夜中に男性二人で歩くのも危険。ブリュッセル南駅は、ブリュッセルで一番大きな駅で、パリやロンドンに行く際に使う電車はここから乗る。駅構内は比較的安全なので、ブリュッセル南駅を使う際は、メトロやトラムを使い、南駅まで行き、構内を通して、ユーロスターなどに乗ることをおすすめする。なるべく、南駅の外に出ないようにすること。もう一つ、危険なエリアが、ブリュッセル北駅付近。銃を使った事件、殺傷事件などが起きたこともあり、ブリュッセルの人たちも危険なエリアだと認識おり、なるべく近づかないようにしている。私が滞在していた寮は、ブリュッセル北駅まで徒歩8分ほどの距離にある。この寮は、ブリュッセル北駅の近くではあるが、会社のビルが立ち並んでいるエリアであり、比較的安全。0時くらいまでは、安全に家に帰ることができる。ブリュッセルに住んでいる友だち曰く、3時くらいが一番危険になるそうなので注意。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	(125,230) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**ブリュッセル**)

ベルギーの首都。ブリュッセルはフランス語とオランダ語の公式の二言語地域である。しかし、フランス語話者が圧倒的に多い。街中にある看板は、フランス語とオランダ語の表記がある。旧ベルギー植民地だけでなく、モロッコやトルコ、南アフリカ出身の労働者なども多く、多民族地域である。

ブリュッセルは比較的小さいので、歩いて観光することも可能。グランプラスが街の中心にあり、15分ほど歩けば美しい広場に行くことができるのが魅力である。グランプラスの周りにはビールが飲み比べられるお店があったり、チョコレートショップがあったり、と観光もしやすい。ベルギービール、ワッフル、フライドポテト、チョコレートが有名。

パリまで電車で1時間20分、ロンドンまで電車で約2時間、アムステルダムまで約2時間、ケルンまで約2時間、とヨーロッパの中心に位置しているため、他の国への観光もしやすく、アクセスがいいのも魅力である。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ルーヴァン・カトリック大学 サンルイ・ブリュッセル校	所在地	ブリュッセル
最寄空港	ブリュッセル国際空港	空港からの距離	電車で約 10 分
空港⇄大学	(電車で約 10 分、その後ブリュッセル北駅から徒歩 10 分) *移動手段		
学生数	約 3500 人	留学生数	約 100 人
学部	Faculty of economics, social and political sciences and communication Faculty of law Faculty of translation and interpreting Faculty of philosophy, languages & letters, and human sciences *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Faculty of philosophy, languages & letters, and human sciences *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			・ English for Erasmus		・ Français langue étrangère pour étudiant en échange : niveau Intermédiaire
午後	・ Italian I	・ Seminar in international and European organizations			

② (2)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	・ Histoire de la justice ・ Histoire de Belgique et des anciens Pays-Bas				
午後	・ Italian I	・ Histoire de Belgique et des anciens Pays-Bas	・ Histoire de l'art du moyen âge à nos jours		

3. 履修内容

科目	Italian I (BROMA1117)		
履修期間	秋学期、春学期通年	単位数	5
授業内容／形態	この授業はフランス語で行われる、イタリア語を学ぶ授業。交換留学生は一学期のみ履修することも可能。アルファベットの読み方から、イタリア語の基礎から学ぶことができ、1年後には A2 レベルに到達することが見込まれている。授業のペースは早く、定期的に理解度を確認できるテストもあり、予習復習が必須。		
成績	6 / 20		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数	—	
	担当教員	—	

科目	Seminar in international and European organizations (BERAS1000)		
履修期間	秋学期	単位数	5
授業内容／形態	この授業は英語で行われるもので、ブリュッセルにあるヨーロッパおよび国際機関の深い知識を得るための授業。この授業では、ヨーロッパの国々が統合するに至った歴史的背景を理解し、また EU や NATO の仕組みを理解することができる。講義、学生によるプレゼンテーション、機関の訪問によって構成されている。		
成績	9/20		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数	—	
	担当教員	—	

科目	English for Erasmus (BERAS3031)		
履修期間	秋学期	単位数	5
授業内容／形態	この授業は英語を学ぶもので、普段の授業では記事を読み、単語を別の表現方法で表す練習、記事についてのディスカッションによって構成。3 人から 4 人のグループを作り、決めたテーマについてのプレゼン、筆記テストによる評価で成績が決まる。		
成績	14/20		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数	—	

	担当教員	—
--	------	---

科目	Français langue étrangère pour étudiant en échange : niveau Intermédiaire (BMHER1323)		
履修期間	秋学期	単位数	5
授業内容／形態	この授業は、交換留学生のためのフランス語を学ぶ授業。学期の開始前にクラス分けのテストがあり、その後クラスに参加し、自分のレベルに合うものを履修。中級クラスで、文法についてさらに詳しく学ぶこともでき、定期的にあるプレゼンによって、フランス語を読むだけでなく、フランス語で表現する練習も可能。予習、復習が必ず必要で、毎週出される課題がある。		
成績	12/20		
YCU 振替予定	科目	専門外国語 B（フランス語）	
	単位数	2	
	担当教員	ナタリー・ロブエ	

科目	BHIST1314 Histoire de la justice		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容／形態	この授業は、中世から現代までの司法の歴史について学ぶ授業。中世にどのようなにして Justice というものが生まれたのか、そして司法というもののまで発展していき、現在の司法機関が生まれていったのかについて知ることができる。 使用言語：フランス語、講義型の授業		
成績	—		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数	—	
	担当教員	—	

科目	BHIST1115 - Histoire de Belgique et des anciens Pays-Bas		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容／形態	この授業では旧オランダとベルギーの歴史について学びます。授業の最後にはベルギーが単一国家から連邦国家へと発展した歴史を、オランダやルクセンブルクの歴史と共に知ることができます。帰属意識の発展と進化、そしてこの領土における様々な原始国家感情と民族感情について注目している。		

成績	—	
YCU 振替予定	科目	—
	単位数	—
	担当教員	—

科目	BHIST1218 - Histoire de l'art du moyen âge à nos jours		
履修期間	春学期	単位数	5
授業内容／形態	この授業では、西洋美術の変化を学ぶことができます。それぞれの時代の表現方法から、その特徴、何を表現しようとしているのか、その表現がどんな歴史的背景の中から生まれてきたのかを学びます。美術の発展を学ぶことは、その時代の社会学、政治、哲学、宗教、科学、文学を学ぶことにも繋がり、多方面から美術について考えることができます。		
成績	—		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数	—	
	担当教員	—	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

2024 年 8 月 29 日にブリュッセルに到着して、2025 年 8 月 4 日にブリュッセルを離れるまでの約 1 年間は、私にとってはあっという間ではなかった。最初の 3 ヶ月間、9 月、10 月、11 月は全てのものが新しく、毎日家を出るだけでたくさんの刺激があって、毎日目が覚めたとき自分がヨーロッパにいる、ということが嬉しくてたまらなかった。同じく交換留学生で、母国を離れて暮らしている友達もたくさんできて、異なる言語、文化を持った人たちと仲良くなりたい、もっと美しい世界を見たい、という私の長年の夢が叶った。12 月に入り、午前 10 時に日が上り、午後 4 時には日が沈むという日照時間の短さ、雨が多く天気の悪いブリュッセルの気候に対応しきれず、鬱のような状態になった。授業が終わったらいち早く部屋に帰りたと思うようになり、英語やフランス語が耳に入ってくることがストレスに感じ、一人でいたい、と授業以外は部屋に引きこもるようになった。このままじゃだめだと思い、気分転換に旅行をしよう、ヨーロッパのクリスマスを感じに行こう、と休日に旅行に行ったものの、どんなに綺麗な景色を見ても、美味しいものを食べても、何も感じなかった。何をしても心が動かなくなっているから、一旦外に出たい、人と会いたいと思えるようになるまで休もうと思い、クリスマスから年始までの間、誰にも会わず、一人で過ごした。英語やフランス語を聞くことがストレスだから勉強もできない、人と会うこともできない、何も頑張れない自分も嫌になり、このままでは自分を嫌いになるし、あと半年以上一人で、ヨーロッパで過ごしていけるとは思えなかった。何かを変えないといけないと思った。そこで私が始めたのが、アルバイトだった。自分がなぜこんなにも自信が持てなくなっているのか、その原因を考えたところ、自分ではお金が稼げず、留学にかかる経費を全て親に頼っているということ、そのことも私にとっては大きなストレスだった。自分で働いてお金を稼ぐことができ、大学以外に自分の居場所ができ、従業員やお客さん、多くの人との交流ができる、少しでも自分が今やっていることに自信が持てるようになるために、アルバイトは私には必要なものだった。実際にアルバイトを始めてみると、食事の場というのはたくさんの文化の違いがあり、働き方も違い、それを感じられることがとても楽しかった。英語やフランス語を使う際に自信を持って話せなかったが、従業員としてお客さんに食事の時間を楽しんでもらいたい、気持ちのいい接客がしたいという気持ちから、他の従業員の接客の仕方を研究したり、どんな表現が伝わりやすいかを勉強したりするようになった。聞き取ることが難しかったフランス語も、だんだん聞き取ることができるようになり、相手が何を求めているのか理解できるようになると嬉しかった。自分が努力している、少しずつでも成長している、ということを感じられることが、私が前を向くことができることに繋がっていた。

私が留学生活で学んだこと、人生で大切なことだと思うのは、自分のやってきたことに自信を持つこと、どんなに小さな努力でも自分のことを認めてあげる、ということだ。鬱のような状態になったときも、どうしたらここから向け出せるか、誰にも相談せず一人で必死に考えた、アルバイトを始めて、右も左もわからない中でもその環境に適応できるように日々模索していた、自分には今何ができるかをいつも考えていた、逃げたいと思っていたことにもちゃんと向き合っていた。そういう自分がやってきたことに目を向け、あの時できた精一

杯のことを私はやってきたのだと自分を認めてあげることが、とても大切なことなのだと気づいた。留学前は自分の周りにいる人たちが自分にとっても優しいこと、嬉しい言葉をかけてくれるのは、その人たちが素敵な人たちだから、そんな友だちを持っている自分は幸せ者だと感じていた。留学を通して、自分の周りには素敵な人たちがたくさんいるのは、私だから、私がその人たちを大切にしているから、その人たちが私に優しいのは私がその人たちに優しくしているから、自分がやってきたことが返ってきているのだと思うようになった。自分では当たり前だと思ってやっていることは、当たり前じゃない。自分にしかない魅力なのだと知ることはとても大切なことだと思う。

たった一人でブリュッセルに行ったし、一人で暮らしていたけど、孤独だと感じることはなかった。それは現地で出会った人たちがいつも私のことを気かけ、温かい言葉をかけてくれて、支えてくれたからだ。たった一年しかブリュッセルにはいなかったけど、思いやりの溢れる素敵な人たちに出会い、一緒に働き、貴重な時間を共に過ごすことができた。天気の良いブリュッセルでは、その人たちの存在が私にとって太陽だった。彼らの存在なしではブリュッセルでは生活できなかった。彼らのおかげで私はブリュッセルが大好きになったし、ブリュッセルに留学することを決めた自分を誇りに思えるようになった。

慣れ親しんだ場所から飛び出すにはある程度の覚悟が必要だけど、その一歩を踏み出す勇気さえあれば、後はどうにかなる。自分でどうにかするしかない。その時に助けてくれる、支えてくれるひとは必ずいる。誰かに頼る勇気と、そのひとたちへの感謝と笑顔を忘れなければ。自分の行動ひとつで、考え方ひとつで、周りは変わっていくし、自分の世界は変えられると思う。自分の今いる場所を好きになれると思う。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

国籍、年齢、文化、育ってきた環境も違う人たちと仲良くなれる、良い印象を与えられる、自分の今いる場所を好きになれるように、輝くことができるように努力できるという自分の良さを理解し、今後の人生に活かしていきたいと思う。横市に交換留学に来る学生の、母国を離れる心細さを理解することができるし、現地に住んでいる人と仲良くなれることの嬉しさも知っている。彼らの留學生活が幸せなものになるように、チューターとして、友人として、支えたい。また、ベルギー特有の、自国の言語を持っていないからこそ、フランス語、オランダ語、ドイツ語、英語、どの言語を話す人にも適応する、受け入れる姿勢、温かい空気感を参考に、日本に来てくれる外国人観光客にも自分たちは迎え入れられているとすることができるようにしていきたいと思う。また、自分が今までやってきたことを認め、自信を持ち、就職によって環境が変わっても、いつも自分のいる場所を好きになれるように努力を惜しまず、頑張っていきたいと思う。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

もっと広い世界を見てみたい、国籍も文化も違う人たちと仲良くなりたい、そんな好奇心旺盛な学生、留学に少しでも興味がある学生、ぜひその一歩を踏み出す勇気を持ってください！挑戦してみたいというその気持ち、大切にしてください。慣れ親しんだ日本という国を飛び出すにはある程度の覚悟が必要だけど、その覚悟と勇気さえあれば、あなたの世界は大きく広がる、あなたの可能性は大きく広がります。英語に自信が無くても大丈夫！言語は英語だけじゃない、他にも色んな言語を話している人がいるから、あなたが一生懸命伝えようとしていることは伝わるし、それを助けてくれる人は世界中たくさんいます。留学は一人だけど、孤独ではない。母国を離れて留学に来た、慣れない環境で努力している、その勇気を讃えて、何かあったらいつでも頼ってねって言ってくれる人たちが必ずいるし、日本にはあなたの帰りを楽しみに待っている家族、友だちがいる。留学中、辛いこともたくさんあるけど、それを覆してくれるような素晴らしい出会い、美しい景色がたくさんある。あの時、勇気を出してよかった、留学するという決断をしてよかったと思える日が必ず来る。交換留学でも、短期留学でも、語学留学でも、どんな形でもいいから、世界に飛び出す勇気を持って欲しいなと思います。みんなの挑戦、楽しみにしています！